本体取付けの場合

1.天井裏に、ダクティング・電気配線・木枠取り付けを先行します。（VVF電源コードは40cm程余裕をとっておきます。）

2.ダクトアダプターをセットし、木枠に固定します。（ダクトとの接続部にはアルミテープを巻きます。）

3.あらかじめ配線してあったVVF電源コードを天井裏から引き出します。

4.VVF電源コードをストリップ処理した後、本体の外部速結端子へさし込みます。

5.アダプター部分の溝に本体のツメを沿わせながら押し込みます。ビスで固定します。

6.天井仕上げ材を施工後、ルーバーを取り付け、完了します。

軽量鉄骨取付けの場合

1.天井裏に、ダクティング・電気配線・木枠取り付けを先行します。（VVF電源コードは40cm程余裕をとっておきます。）

2.ダクトアダプターをセットし、鉄骨へビス止めします。（ダクトとの接続部にはアルミテープを巻きます。）

3.あらかじめ配線してあったVVF電源コードを天井裏から引き出します。

4.VVF電源コードをストリップ処理した後、本体の外部速結端子へさし込みます。

5.アダプター部分の溝に本体のツメを沿わせながら押し込み、本体内側の＋印を目安にして鉄骨にビス止めします。

6.天井仕上げ材を施工後、ルーバーを取り付け、完了します。

その他、止むを得ず結線工事が最後になった場合でも結線ができます。

本体がはずせる場合

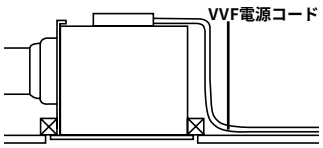
1.本体を固定しているネジをはずし本体を引き出します。
2.天井裏から電源コードを引き出します。
3.VVF電源コードを外部速結端子へさし込みます。
4.再び本体を埋込み穴へ押し込みネジで固定します。

天井仕上げ材が上になり本体がはずせない場合

1.ファンモーターユニットを固定しているネジをはずします。
2.ファンモーターユニットを引き出します。
3.結線工事をします。
4.ファンモーターユニットを戻しネジで固定します。

外部速結端子の利点を生かしていただく為に

●天井が貼られる前の配線をおすすめします。
●結線工事が最後になると思われる時は、事前に外部速結端子にVVFを差し込んでおいていただき、照明等と同時に結線する方法をおすすめします。



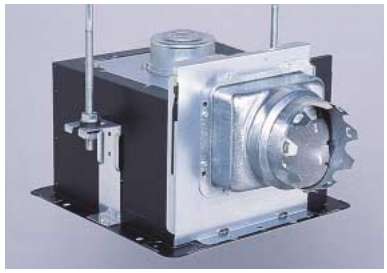
天井埋込換気扇の施工方法・結線方法

吊金具を使用する場合

●施工例

1.別売の吊り金具（例：FY-KB071）を本体に取り付けます。

2.あらかじめ埋め込んだアンカーボルトにナットを通しU溝部へはめ込み仮止めします。



3.左右のバランスを見ながら、調節し、最後に上部のナットをしめつけ、完了です。

吊り金具適用一覧

※FY-KB071は同デザインで材質違いです。

タイプ／材質※	17	24	24親子	27	32	38
鋼板	FY-KB071			FY-KB021		
SUS	FY-KB081			FY-KB04		
樹脂	FY-KB061			FY-KB061		

□は１セットをご注文ください。□は２セットをご注文ください。
（１セットは２個入りです。）
※換気扇本体の材質のこと。

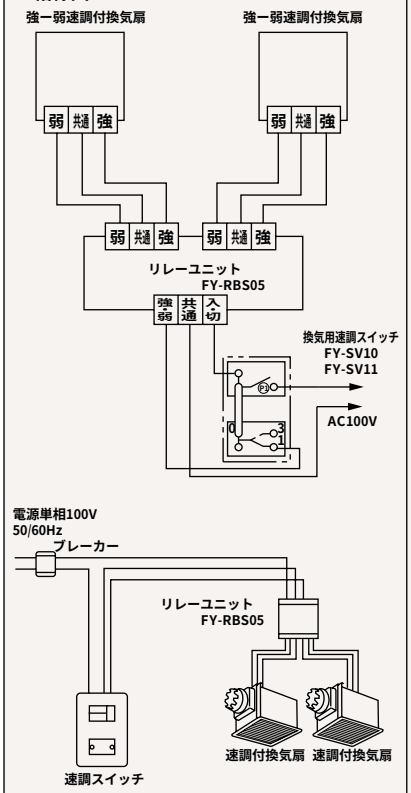
リレーユニットを使用する場合

●強ー弱速調付換気扇の場合の並列運転の結線

※3速仕様の換気扇は3速とも使用する場合には複数台運転できません。3速の内、2ノッチを選択して使用する場合には、リレーユニットで対応してください。（1ノッチ分は結線しないで使用しない場合）

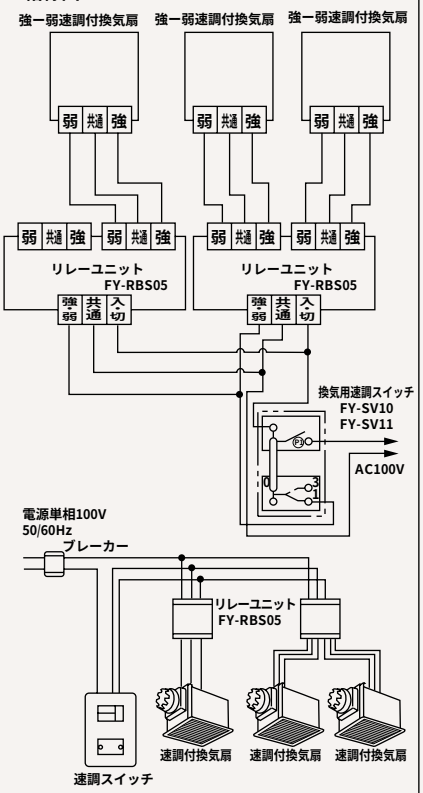
２台運転の場合

■結線図



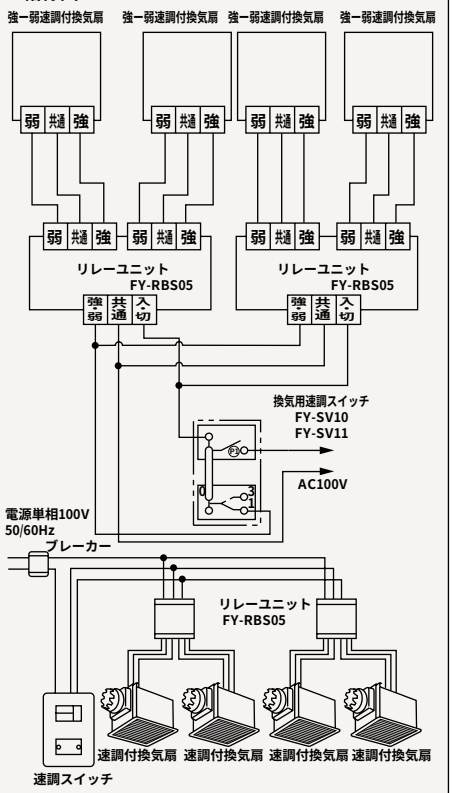
３台運転の場合

■結線図



４台運転の場合

■結線図



５台以上は組合せて結線してください。

※接続台数については、次の２つの点をご確認ください。
①リレーユニット（FY-RBS05）に接続される速調付換気扇の「強」時の電流がそれぞれ5A以下であること。
②速調スイッチ（FY-SV10・FY-SV11）に接続される速調換気扇の「強」時の電流の合計の1.5倍の値が4A以下であること。
●②の場合の電流の合計値が4A以上になる場合、速調スイッチFY-SW80、81（定格15A）をご検討ください。